

令和7年度

特別会計補正予算書

水道事業会計補正予算(第2号)

鹿児島県曾於市

水道事業会計補正予算(第2号)

令和7年度曾於市水道事業会計補正予算（第2号）

第1条 令和7年度曾於市水道事業会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

第2条 令和7年度曾於市水道事業会計予算（以下「予算」という。）第3条に定めた収益的収入の予定額を次のとおり補正する。

科 目	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
	収	入	
第1款 水道事業収益	574,242千円	△5,078千円	569,164千円
第1項 営業収益	494,093千円	△55,862千円	438,231千円
第2項 営業外収益	80,139千円	50,784千円	130,923千円

第3条 予算第11条に定めた経費の金額を次のように改める。

科 目	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
他会計からの補助金	70,891千円	50,784千円	121,675千円

令和7年7月23日提出

曾於市長 五位塚 剛

令和7年度

特別会計補正予算に関する説明書

水道事業会計補正予算(第2号)

鹿児島県曾於市

水道事業会計補正予算(第2号)

令和7年度 曾於市水道事業會計補正予算実施計画

収 益 の 収 入

(単位：千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考	
1	水道事業収益		574,242	△ 5,078	569,164		
	1	営業収益	494,093	△ 55,862	438,231		
		1	給水収益	492,426	△ 55,862	436,564	
	2	営業外収益	80,139	50,784	130,923		
		2	補助金	8,882	50,784	59,666	

令和7年度 曾於市水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書
(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

I	業務活動によるキャッシュ・フロー：	
	当年度純利益	16,165 千円
	減価償却費	198,007 千円
	退職給付引当金の増減額（△は減少）	△ 4,145 千円
	貸倒引当金の増減額（△は減少）	165 千円
	長期前受金戻入額	△ 8,266 千円
	受取利息及び受取配当金	△ 960 千円
	支払利息	17,765 千円
	未収金の減少額（△は増加）	2,922 千円
	たな卸資産の増減額（△は増加）	△ 4,677 千円
	消費税及び消費税調整額	31,800 千円
	小計	248,776 千円
	利息及び配当金の受取額	960 千円
	利息の支払額	△ 17,765 千円
	業務活動によるキャッシュ・フロー	231,971 千円
II	投資活動によるキャッシュ・フロー：	
	有形固定資産の取得による支出	△ 349,797 千円
	国庫補助金等による収入	72,000 千円
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 277,797 千円
III	財務活動によるキャッシュ・フロー：	
	建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	160,000 千円
	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 124,019 千円
	財務活動によるキャッシュ・フロー	35,981 千円
IV	資金増加(減少)額	△ 9,845 千円
V	資金期首残高	822,411 千円
VI	資金期末残高	812,566 千円

令和7年度 曾於市水道事業予定損益計算書
 (令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

	千円	千円	千円
1 営業収益			
(1) 給水収益	436,564		
(2) 給水負担金	1,012		
(3) その他の営業収益	655	438,231	
2 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	180,256		
(2) 配水及び給水費	80,501		
(3) 総係費	72,363		
(4) 減価償却費	198,007		
(5) 資産減耗費	2,052	533,179	
営業損失			94,948
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	960		
(2) 補助金	59,666		
(3) 資本費繰入収益	62,009		
(4) 長期前受金戻入	8,266		
(5) 引当金戻入	5		
(6) 補償金	5		
(7) 雑収	12	130,923	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	17,765		
(2) 雑支出	55		
(3) 予備費	1,000	18,820	
営業外利益			112,103
経常利益			17,155
5 特別利益			
(1) 過年度損益修正	10	10	
6 特別損失			
(1) 過年度損益修正	1,000	1,000	△ 990
当年度純利益			16,165
前年度繰越剰余金			221,023
当年度未処分利益剰余金			237,188

令和7年度 曾於市水道事業予定貸借対照表
(令和8年3月31日)

		資 産 の 部			
		千円	千円	千円	千円
1	固 定 資 産				
(1)	有 形 固 定 資 産				
	イ 土 地		45,640		
	ロ 建 物	273,740			
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 102,096</u>	171,644		
	ハ 構 築 物	7,353,620			
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 3,804,101</u>	3,549,519		
	ニ 機 械 及 び 装 置	1,895,484			
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 1,215,366</u>	680,118		
	ホ 車 両 運 搬 具	3,861			
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 2,449</u>	1,412		
	ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	20,930			
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 19,050</u>	1,880		
	有 形 固 定 資 産 合 計			4,450,213	
(2)	無 形 固 定 資 産				
	イ 電 話 加 入 権		298		
	無 形 固 定 資 産 合 計			298	
(3)	投 資 資 金				
	イ 出 資 金		2,800		
	投 資 合 計			<u>2,800</u>	
	固 定 資 産 合 計				4,453,311
2	流 動 資 産				
(1)	現 金 預 金			812,566	
(2)	未 収 金		81,138		
	貸 倒 引 当 金		<u>△ 557</u>	80,581	
(3)	貯 蔵 品			2,593	
(4)	そ の 他 流 動 資 産			<u>665</u>	
	流 動 資 産 合 計				<u>896,405</u>
	資 産 合 計				<u><u>5,349,716</u></u>

				負 債 の 部			
				千円	千円	千円	千円
3	固 定 負 債	債 金	債 金			1,660,064	
	(1) 企 業 債	金	金				
	(2) 引 当 金	金	金				
	退 職 給 付 引 当 金						
	固 定 負 債 合 計					<u>31,358</u>	1,691,422
4	流 動 負 債	債 金	債 金			115,019	
	(1) 企 業 債	金	金				
	(2) 引 当 金						
	イ 賞 与 引 当 金			5,758			
	ロ 法 定 福 利 費 引 当 金			<u>1,190</u>		6,948	
	(3) そ の 他 流 動 負 債					<u>600</u>	
	流 動 負 債 合 計						<u>122,567</u>
5	繰 延 収 益						
	(1) 長 期 前 受 金					347,638	
	(2) 収 益 化 累 計 額					<u>△ 74,349</u>	
	繰 延 収 益 合 計						<u>273,289</u>
	負 債 合 計						2,087,278
				資 本 の 部			
				千円	千円	千円	千円
6	資 本 金						2,619,999
7	剰 余 金						
	(1) 利 益 剰 余 金						
	イ 減 債 積 立 金			82,900			
	ロ 建 設 改 良 積 立 金			322,351			
	ハ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金			<u>237,188</u>			
	利 益 剰 余 金 合 計					<u>642,439</u>	
	剰 余 金 合 計						<u>642,439</u>
	資 本 合 計						<u>3,262,438</u>
	負 債 資 本 合 計						<u><u>5,349,716</u></u>

注 記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

ア 有形固定資産

- ・減価償却の方法

定額法による。

- ・主な耐用年数

建物	15	～	65年
構築物	9	～	65年
機械及び装置	8	～	20年
車両運搬具	3	～	5年
工具器具及び備品	2	～	17年

(2) 引当金の計上方法

ア 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等による回収不能見込額を計上している。

イ 退職給付引当金

当事業年度末における職員に対する退職手当の要支給額から、鹿児島県市町村総合事務組合における積立金相当額を控除した金額を計上している。なお、退職手当組合における積立金相当額は曾於市全体の職員総数で割った金額に水道事業職員数を乗じたものとなっている。

ウ 賞与引当金

職員の期末勤勉手当の支給の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

エ 法定福利費引当金

職員の期末勤勉手当の支給に伴う法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式による。

2 貸借対照表等関連

(1) 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債(当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む)のうち、他会計が負担すると見込まれる額は887,541千円である。

3 その他の注記

(1) 賞与引当金の目的使用による取り崩し

当年度において、期末勤勉手当として8,635,500円を支出するため、賞与引当金5,758,000円を取り崩す。

(2) 法定福利費引当金の目的使用による取り崩し

当年度において、期末勤勉手当への支給に伴う法定福利費として1,783,495円を支出するため、法定福利費引当金1,190,000円を取り崩す。

令和7年度 曾於市水道事業會計補正予算資料

収 益 の 収 入

(単位：千円)

款	項	目	節	既決予定額	補正予定額	計	備考	
1 水道事業収益				574,242	△ 5,078	569,164		
	1 営業収益			494,093	△ 55,862	438,231		
		1 給水収益			492,426	△ 55,862	436,564	
			水道料金		492,496	△ 55,862	436,634	
	2 営業外収益				80,139	50,784	130,923	
		2 補助金			8,882	50,784	59,666	
				他会計補助金		8,882	50,784	59,666
合 計				574,242	△ 5,078	569,164		